規制緩和第1号ホテル「門前宿 和空 法隆寺」グランドオープン

～ 奈良県にある日本初の世界遺産「法隆寺」南大門前。参道活性プロジェクト第1弾 ～

モダンな和みの和空間で和文化体験

法隆寺界隈を通過型観光から滞在回遊型観光へ

株式会社和空プロジェクト（代表取締役・熊澤克己、本社・大阪市北区）は、和文化体験型の宿泊施設、門前宿「和空　法隆寺」を9月8日にオープンさせた。斑鳩町がまちなか観光を推進するために条例を改正、用途制限を緩和した「規制緩和第1号ホテル」であり、また一般社団法人全国寺社観光協会（本部事務局・大阪市北区／近畿経済産業局2018年第2回関西インバウンド大賞特別賞「新規性・独創性部門」受賞）が監修する「参道活性プロジェクト第1弾」であることから、オープン前から注目を集めていた。9月3日には開業記念レセプションと内覧会が開かれ、多くのマスコミ関係者が参加した。開業後の予約も好調だ。

■参道活性プロジェクト第1弾

「和空　法隆寺」は、「ひとりでも多くの方に寺社へ足を運んでもらうために」を活動理念として掲げている一般社団法人全国寺社観光協会が監修する「参道活性プロジェクト第1弾」となる和文化体験型の宿泊施設だ。

門前宿とは、寺社へ参拝する方々の心と体を整える場所。

日本では熊野詣や伊勢参りなどの「参拝」が旅行の始まりと言われている。

■規制緩和第1号ホテル

法隆寺を中心とした「まちなか観光」を実現するため、斑鳩町が平成26年（2014年）に条例を改正、用途制限を緩和したことによって実現した規制緩和第1号ホテル。歴史文化資源豊富な斑鳩の里の景観に配慮した建物となっている。設計施工は積水ハウス株式会社（本社・大阪市北区）が担当した。参道に溶け込むデザインを意識し、世界遺産にふさわしい建物を目指して設計された。

■奈良の課題・日帰りの通過点から滞在回遊型へ

奈良県はこれまで、歴史観光地として知名度が高く年間1千万人以上の来訪者がありながら、宿泊施設の絶対数が少なく、とくにインバウンドの9割が日帰りの通過点となっていることが課題となっていた。

今回、世界遺産法隆寺の参道にユニークな和文化体験型の門前宿が誕生することによって、奈良・斑鳩・法隆寺観光が滞在回遊型に変化していく契機となることが期待されている。県や町、旅行会社とも積極的に連携を進めていきたいとしている。

9月3日に開催された完成披露のレセプション内覧会には、荒井正吾・奈良県知事や中西和夫・斑鳩町長なども列席、門前宿の誕生に寄せられる期待の高さが分かる。

■和文化体験

施設は、法隆寺や斑鳩の里、奈良観光の拠点となるのはもちろんのこと、館内でも様々な和文化を体験できる。まず、チェックイン時には「塗香（ずこう）」を提供。

塗香とは、仏教の修行や寺院に入る前に身を清めるためのものとして古来より作法として伝わっているもの。清めだけでなく、種類により良縁、厄除、長寿などの力があるとも言われている。また、最近の研究ではリラックスや集中力向上などの効果も確認されている。

100畳の大広間では茶道・華道・書道・香道など各種「和カルチャー・〝いろはのい〟体験」ができる。宿泊施設内にある快適でゆったりとした空間で和文化体験ができるので、シニア層にもおすすめ。和文化体験を通して、心を整え参拝の準備に繋げることができる。

東方館1Fのラウンジには、奈良や法隆寺の歴史を学べる貴重な書籍が並ぶ。お茶やお酒などと一緒に、奈良の歴史や寺社について知識を深めることができる。スタッフや宿泊者同士でコミュニケーションを取りながら、新たな発見や繋がりを創出する空間。

入浴文化は、仏教と共に日本に渡って来たとされる。当時は多くの寺院に浴堂があり、参拝客が身を清めたり病気の予防や治癒を目的に施湯を行っていたと言われている。和空法隆寺では、そうした歴史的経緯に由来する男女別4つの浴堂を用意し、香湯や薬湯なども提供。それぞれの浴堂は「朱雀」「玄武」「白虎」「青龍」と呼ばれるが、これは奈良県明日香村のキトラ古墳や高松塚古墳の四方の壁にも描かれている東西南北を守る四神（守護神）からきている。

客室は畳敷きにローベッドを配した和モダンな空間。和の寛ぎと洋の快適性を両立させた。インバウンド客やシニア層がリラックスして過ごすことができる。

そのほか門前宿に宿泊することで初めて感じることのできる法隆寺の夜や朝の凛とした空気感も心ゆくまで楽しむことができる。法隆寺の参道にあり門前まで徒歩で数十秒とアクセスが容易なので外国人観光客やミドル層やシニア層が利用しやすい。

■全日本調理師協会名誉会長・神田川俊郎（北新地「神田川」店主）監修

食事は、全日本調理師協会名誉会長で北新地「神田川」店主・神田川俊郎氏の監修により、夕食は大和牛や大和肉鶏、伝統大和野菜など地域の食材を活かした門前懐石料理や特別精進料理が中心。奈良の地酒や地ビール、地ワインも楽しめる。また朝食は、朝からすべて手作りの健康和食バイキング料理を提供する。また、厳選した良質な豆「幸せの粒」を緻密な焙煎技術で仕上げた奈良の新名物、フジエダ珈琲（奈良藤枝珈琲焙煎所）も提供。香り豊かな朝の1杯で一日をスタートすることができるのも魅力だ。

■9月3日の開業記念レセプションには、奈良県知事、斑鳩町長も出席

施設を企画・管理・運営する株式会社和空プロジェクトの熊澤社長は「斑鳩町が用途制限を緩和されたのが大きなきっかけとなった。宿泊を提供することで法隆寺の魅力をよりたっぷりと味わえるようになる。斑鳩の里、奈良、日本の魅力を発信する拠点になれば」と話した。

荒井正吾・奈良県知事は「コンセプトに感動した。立派なホテルをつくってもらい感謝している」。

中西和夫・斑鳩町長は「斑鳩町には宿泊施設がなく、これまでは通過型の観光だった。これからの賑わいに期待している」。

高橋宏治・文化庁政策課長は「奈良はキラーコンテンツ。インバウンドに大いに貢献しうる場所。今後もいろんな形で支援していきたい」。――とそれぞれの立場から開業を祝った挨拶をした。

■施設概要

【施設名称】
門前宿「和空　法隆寺」（もんぜんやど　わくうほうりゅうじ）

【所在地】
奈良県生駒郡斑鳩町法隆寺1丁目5―32

【管理・運営】
株式会社和空プロジェクト

【設計・施工】
積水ハウス株式会社

【宿泊開始日】
2019年9月8日（日）

【構造】
軽量鉄骨造、2階建、2棟（西方館・東方館）

【敷地面積】
4375・14㎡（西方館2318・70㎡、東方館2056・44㎡）

【延べ床面積】
西方館1436・48㎡、東方館1498・49㎡、計2934・97㎡

【総客室・定員】
60室／141人

【共用施設】
大広間、浴堂、ギャラリー、ラウンジなど

【宿泊料】
1泊2食付：1万8500円～（税別）

【公式ホームページ】
https://waqoo-horyuji.com/

■「参道活性プロジェクト」の目的

寺社の参道や門前のにぎわいを創出。地区内外の人の交流を生み出し、寺社振興・地域振興を推進してご縁を結ぶ。「ひとりでも多くの方に寺社へ足を運んでもらうために」を活動理念として掲げている一般社団法人全国寺社観光協会が監修・推進するプロジェクト。

■株式会社和空プロジェクト

一般社団法人全国寺社観光協会の監修のもと、寺社やその周辺地域で門前宿や宿坊などの宿泊施設の創設を推進し、滞在型コンテンツの開発や総合的なコンサルティングを展開。グローバルな視点で、日本の伝統寺社の魅力と付加価値を高め、国内外に広めることによって地域振興を図る事業に取り組んでいる。

ホームページ　http://waqoo-pj.jp/

西方館　外観（夕景）：法隆寺参道に立地し、南大門までわずか1分。東方館と2棟で構成される

レセプション：スタッフの雇用は地域を中心に

東方館ロビー：昼はブックサロン、夜はBARに

ジュニアスイート：畳敷きに低層ベッドの客室中心、純和室もある

浴堂：日本の風呂文化発祥の「寺湯」にちなむ

神田川俊郎氏監修の門前懐石料理は奈良食材を中心に

茶道、華道、書道、香道など和文化体験もできる

記者会見：奈良県知事、斑鳩町長、文化庁政策課長なども出席した

テープカット：NHKや民放各局、新聞各紙、計30社以上の報道陣が集まった

問い合わせ先
株式会社和空プロジェクト
〒530-0044　大阪市北区東天満1-11-13-11F
TEL：06-4801-8211　FAX：06-4801-8221